

## 試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：ナシ病害防除支援情報システム「梨病害防除ナビゲーション ver. 2.00」			
[要約]「梨病害防除ナビゲーション ver. 2.00」は Microsoft® Excel® 2007、2010、2013 上で稼働し、これまでの黒星病孢子飛散状況、黒星病感染危険度、潜伏期間後の予測発病度、散布農薬の残効期間の情報に加え、秋季防除のための情報をチャート化して示す。			
キーワード ナシ、黒星病、「梨病害防除ナビゲーション ver. 2.00」、秋季防除			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 病理昆虫研究室 協力機関 千葉農業事務所、東葛飾農業事務所		
実施期間	2013年度～2015年度		

### [目的及び背景]

「梨病害防除ナビゲーション」はナシの生育期間における黒星病の防除要否を生産者自身で判断できるように開発された。しかし、開花期から収穫期までしか対応していなかったため、秋季防除における防除要否の判断には利用できなかった。そこで、ナシ生育期から秋季防除の時期までの防除要否判断ができる、これまでの「梨病害防除ナビゲーション」の機能を拡張した「梨病害防除ナビゲーション ver. 2.00」を開発する。

### [成果内容]

- 1 「梨病害防除ナビゲーション ver. 2.00」は、Microsoft® Excel® 2007、2010、2013 上で稼働し、ナシ開花期（始期）、Duthie の発生予測モデルによるナシ黒星病感染危険度、散布農薬、さらにナシ落葉時期を入力設定すると、病害防除支援チャートとして、ナシ開花期から秋季防除時期までの黒星病菌孢子の飛散状況、潜伏期間後の予測発病度、ナシの黒星病に対する高感受性期間、農薬の残効期間等の情報をパソコン上に示す（図1、2）。
- 2 上記ナシ黒星病感染危険度はこれまでの「梨病害防除ナビゲーション（以下、梨ナビ ver. 1.00）」と同様に、以下のいずれかの計算結果を入力する。
  - （1）インターネット（URL：<http://cse.naro.affrc.go.jp/ketanaka/model/applet/PearDuthie.html>）で公開されている「Duthie（1997）によるナシの黒星病・黒斑病発生予察モデル」による、農林総合研究センター気象観測装置、アメダス、各地に設置されたフィールドサーバ等の気象観測データに基づく計算結果。
  - （2）小型温湿度記録計の温湿度データに基づく計算結果。
- 3 「梨ナビ ver. 1.00」同様、ナシ黒星病防除に使用される主な農薬とその効果は簡易なデータベースとして内蔵し、参照入力できる。登録されたデータは加除修正できる。
- 4 病害防除支援チャートと天気予報から防除要否及び農薬散布時期を判断する。

[留意事項]

- 1 農薬の治療・残効期間は散布方法、ナシの生育ステージ、気象条件により影響される。データベースに予め登録されている農薬の治療・残効期間は、これまでの試験や経験に基づいた大まかな目安である。

[普及対象地域]

千葉県内のナシ生産者及び指導機関

[行政上の措置]

本システムは担い手支援課（TEL：043-223-2907）に利用申請書を提出することにより入手できる。

[普及状況]

[成果の概要]

病害防除支援チャート

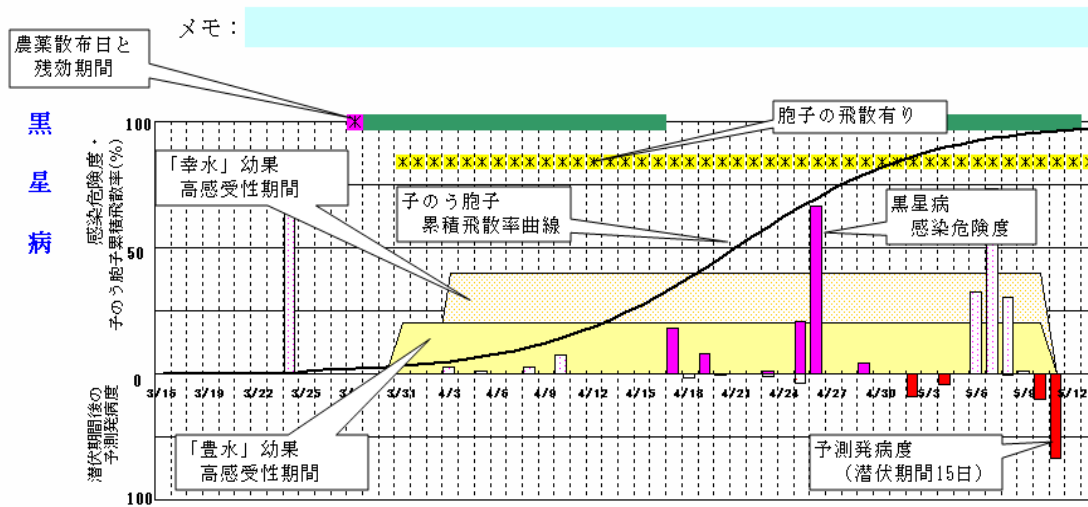


図1 開花期における“病害防除支援チャート”

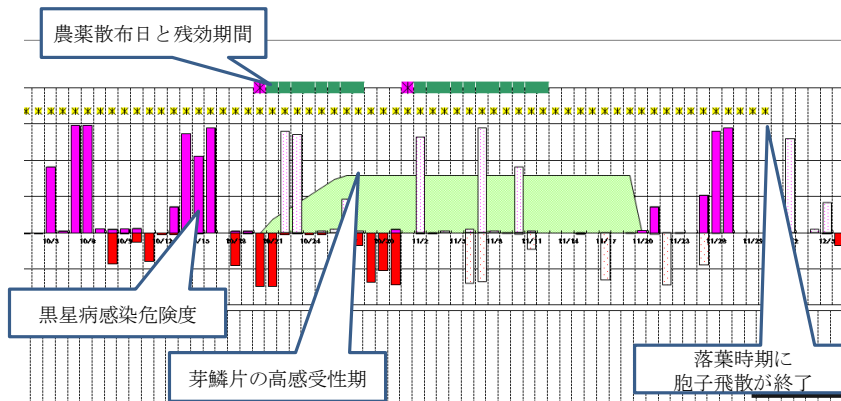


図2 秋季における“病害防除支援チャート”

[発表及び関連文献]

- 1 平成 27 年度試験研究成果発表会（果樹部門）
- 2 平成 19 年度試験研究成果普及情報「ナシ病害防除支援情報システム「梨病害防除ナビゲーション」」
- 3 平成 26 年度試験研究成果普及情報「ナシ黒星病の発生生態からみた秋季防除時期」
- 4 金子洋平 千葉県におけるナシ黒星病の秋季防除 植物防疫（2014）
- 5 金子洋平ら 秋季におけるナシ芽鱗片生組織の露出状況とナシ黒星病に対する感受性の関係 関東東山病害虫研究会報（2014）

[その他]